

■「守口市まち・ひと・しごと創生委員会」 第1回・第2回のご意見のまとめ（案） と 第3回でお聞かせいただきたいこと

- ・本資料は、第1回・第2回で各委員からいただいたご意見の概要を整理した資料でございます。
- ・第3回でご意見お聞かせいただきたいことを、下記の表中にお示ししております。よろしくお願いいたします。

1. 「守口市人口ビジョン」に関わるご意見

問題意識	人口減少に歯止めをかけるための方向性	
<p>○守口市は利便性が高い地域であるが、人口が減少している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・守口市の人口が年々減っており、高齢化率が増えている。 ・通勤にも、非常に便利なエリア。大阪市にも隣接しており、大日駅前もかなりの商業施設が集積しており、地場産業もそれなりにあるエリア。大学もある。それにも関わらず、昭和45年から人口が減っている。 ・立地がいいところなのに、人口が減っていく。 	<p>人口を増やすことが必要である</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進む中、守口市の人口を増やす。 ・人口のピラミッドの形を変えていくような取り組みが必要。
<p>○子どもが生まれにくくなっている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人の婚姻率が下がっている。 ・経済的に安定していないので結婚できないカップルも多いと思う。 ・子どもを産まないお母さんが増えている。 	<p>子どもを産み育てやすくしていくことが必要である (自然動態に関わる目標)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化対策により注力していくべき。 ・子どもは社会の宝。 ・子育て世代が社会に子どもが大事にされていると実感できることが大事。 ・少子高齢化の守口市のなかで、生き生きとした守口にするためには、ひと、若い世代が守口に住みたい、守口で子どもを育てたいというまちになることが大事。
<p>○若い世代が流出している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代が転出している。 ・子育て世帯が転出超過になっている。 ・アンケート結果により「若年者の定住意向は4割」。 	<p>若い世代が住みたいと思うまちづくりを進めることが必要である (社会動態に関わる目標)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市外から転入者を増やしていかなければならない。 ・若い世代が守口市を選ぶ仕組みをつくる。 ・子育て支援などで若い人を呼び込む。 ・若い世代が住みやすいまちづくりが必要。 ・若い世代、子育て世代が住みたいまちにする。 ・若い世代の守口市への定着。 ・今いる子どもたちに将来、守口市に住んでもらう
<div style="border: 1px solid black; background-color: #e0ffe0; padding: 10px;"> <p>◎守口市の立地や生活利便性に魅力を感じる「家族」は、どのような世帯でしょうか。</p> <p>◎どのような「若い世代」や「ファミリー層」であれば、子育てをするまちとして守口が選ばれやすいでしょうか。 (年代、家族構成、現在の居住地域、現在の住宅の種類、ライフスタイル、価値観、職業・職種、共働きの状況、両親の実家との距離等)</p> </div>		

2. 「守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関わるご意見

(1) 地方創生の基本的な考え方について

地方創生の進め方、活かすべき資源	
地方創生の取組の進め方	<p>守口市がめざす方向・ビジョンをわかりやすく発信することが重要である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・守口市がどのようなことを打ち出すか、明確な形で発信していく。 ・サンプルシーンが必要。 <p>若い世代の視点や意見・ニーズを大事にすることが重要である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民目線が非常に大事。住民からの視点、住民は何に関心があるかが非常に大事。 ・子どもを産む世代や定着して欲しい若い世代の実際の意見、本当のニーズを吸収することが大事。 <p>取り組みのスピード感が重要である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策について、他の市町村がやった後により早く守口市も実施するため、ニュースにはならない。例えば、市役所の敷地内には、いまだに灰皿があり、敷地内禁煙への取組が遅い。 <p>取り組みの重点化が必要である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中すべきところ、重みづけを考えてほしい。 ・弱い部分を抽出して埋めていく。 <p>みんなで守口市づくりを進めていくことが必要である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのまちは自分たちで作っていくという人が、1人でも多く増える。
<p>◎地方創生の取組みにあたって「大切にすべき考え方・価値観」や「キーワード」について、ご意見をお聞かせください。</p> <p>◎地域と行政との連携、産・官・学・金・労・言の連携、市民による取組みなど、地方創生の取組の進め方、推進体制などについてご意見をお聞かせください。</p>	
地方創生で活かすべき資源	<p>守口市は交通や生活の利便性が高く、住みやすいまちである</p> <ul style="list-style-type: none"> ・守口は地理的にも素晴らしい良い場所で、大学、医療機関等が整っている。 ・利便性が高いこと、特に交通面の利便性がよいことが全体的な強み。 ・転出者の約4割が、守口市内での住み替えを検討しないということは、否定的にとらえられがちだが、日常の生活が便利であることの裏返しとも取れる。 ・交通の便がよいのは大きなメリット。 ・交通の便がよいことは、都市間競争で、入口部分で優位に立てるメリット。 ・守口市の強みとしては交通面。 ・便利でプラス面が大きい、住みやすいまち。 ・交通の便が良い、鉄道も道路も空路も非常に便利。 ・物価が安い、買物が便利。 ・病院も充実している。 ・守口市は交通の利便性や日常的な商業を含め環境は良い。 ・地縁や血縁がない人にとっては、梅田で働く場合、梅田から20分圏内の堺市北部、西宮市などが同じような立地条件。 <p>ものづくり産業が立地している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・守口の特徴として中小企業がかなり良い技術を持ち魅力がある。 ・家電メーカーの下請け企業で育った企業で技術のあるところが、それ以外の仕事も受けて成功している例もある。 <p>歴史や文化が息づいている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・淀川を介した昔の交流や交通もイメージをよくするものだと思う。 ・枚方市が、五六次として56番目の枚方宿を売りにしているなら、守口市も、57番目の文禄堤という守口宿がある。 <p>公共施設に伴う跡地を活用することができる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の統廃合が進む中で、まちづくりにおける種地が出てくる。 ・基盤整備を含めたまちのリニューアルを中心にして取り組む。
<p>◎地方創生にあたって、活用することが考えられる資源や、活用方策についてご意見をお聞かせください</p>	

(2) 守口市が取り組むべき内容についてのご意見・ご提案

①若い世代の結婚・妊娠・出産・子育てについて

取り組みの方向性	取り組みのアイデア	
<p>○結婚したいと思う若い世代の活動を支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもを産むためには、まずはパートナーを見つける必要がある。 4割の人が婚活に賛成なら、実施してみる価値はあると思う。 婚活は行政がやるべきことではないと思う。 	<p>若い世代が結婚や子育てに対して肯定的なイメージを持つことの促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 結婚に対しての肯定的なイメージをいかに若い時につくるかが大事。 子どもと接する機会として、中・高生の時に地域の幼稚園・保育園に行き子どもとふれあい、子どもは可愛いなという肯定的なイメージを持てるようにする取組。 結婚が決まったカップルに向けた、オリジナルの結婚届や、婚姻届を出しに行ったときに記念写真を撮ってプレゼントする。
	<p>若い世代がライフデザインを考える機会の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ライフデザインセミナーとして、赤ちゃんに触れ合う機会の少ない高校生や未婚の人向けに、赤ちゃんを抱っこする機会や、ウエディングドレスを試着して結婚への夢を感じてもらう機会を設け、併せて専門の先生による、妊娠・出産についての性教育も行う。 性教育において、卵子の老化についての認識をすることが必要。
	<p>若い世代が出会う機会を増やすための支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 実際に出会いの場としてパーティを開催しても、女性の参加が少ない。 婚活パーティと銘打つと参加しにくい人が多い。 婚活に行く人は、様々な場所に出向いており、同じ人を何回も見るということもある。 商工会議所で、社長や青年実業家が多数参加する婚活パーティを開催している。 公務員の男性を集めたパーティは、女性には人気だと思ふ。 婚活のイベントは、男女共に守口市以外の場所で参加するように思う。 同じ目的で ほどほどの距離でつきあう中で、よい人に巡り合うということもある。 男女がお互いに興味をもって協働で何かを行うサークル、教室。 婚活と銘打たない、カップルでの茶話会などの友達と一緒に参加でき、男女同じくらいの人数になるような場の提供。 親向けの婚活セミナー。
<p>○若い世代の妊娠・出産を支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> 今は、親や姑と同居する世帯が減っているため、相談する相手がいない。 不妊治療に悩んでいる母親が多い。 今は里帰り出産ができない人が多い。 	<p>結婚・妊娠・出産についての情報提供や相談</p>	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠段階から出産、育児まで、ワンストップの包括的な支援センターのような機関の整備。
	<p>不妊治療の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 不妊治療に対する補助。 妊娠しやすい年代のときに、妊娠できないという場合は、行政としてしっかり補助していく。
	<p>安心して出産できるための産前・産後の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠中の母親の入院中に上の子どもの面倒みてもらえる施設をつくる。 産後院のような育児に入る前の、出産に対する支援。 安心して産める産婦人科やフォローしてくれる小児科を増やす。
<p>○若い世代の子育てを支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> 核家族のため育児の協力を頼めない。 多子世帯にも関わらず、父親の協力が得られない家庭や母子家庭もある。 	<p>子育てについての情報提供や相談</p>	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠、出産、子育てについてのワンストップでの相談や支援。
	<p>男女がともに協力した子育ての促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 女性の社会進出を考える時に、「男性の家庭進出」をセットで考えていかなければならない。 子育て支援の主体は各家庭であり、行政は出来ない部分だけへのフォローが大事。
	<p>子育てをしている親子のつながりづくりの支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市民であるお母さんが主体になって行う講座、子育てセミナーやサロン、子育て世代同士が悩みを相談できてつながれる場を提供する。 商店街での空き店舗、空きスペースを利用した地域の子育て広場。 地域社会で子育て出来るような環境づくり。

取り組みの方向性	取り組みのアイデア	
<p>○魅力ある学校教育を提供する</p> <ul style="list-style-type: none"> 校教育を魅力あるものにする必要がある小学校入学を機に、転居して、公立でも他市の公立を選択するという考えも出てくる。 教育水準全体を上げるために市が行う施策をもっと大々的にPRして、地元の学校に入ってもらおう。 貧困家庭に教育投資を重点的に行う。 個々の家庭事情にあまり左右されないような教育や支援を出来るような社会環境を整えていく。 皆同じ教育をしっかりと受けられる環境づくり。 子どもたちが将来納税者として守口で税金を納めてもらうためにどうしていくべきかという対策が必要。 教育水準の問題もある。守口市の学力は、大阪府の平均よりも低い。 	<p>基本的な生活習慣や学習習慣の定着</p>	<ul style="list-style-type: none"> 宿題など家庭学習を含め、家庭のなかで「早寝早起き朝ごはん」という基本的生活を営むことを、市が対策として取り組んでいく。 教育水準については、学校の責任ばかりではなく、家庭の生活習慣にも原点がある。
	<p>子どもの数の減少に対応した学校の統廃合</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの数が減少していることで学校を統廃合する。
	<p>学力向上の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幼児期・小学校低学年の時期の子どもにきちんと人材・財政を投資し、充実した教育を受けることが必要。ただし、小学校1～2年生時点では学力差が見えにくく、小学校3年ぐらいから徐々に学力差が目立つようになってくる。 守口市の公立小中学校でしっかり学力等が身につくこと。
	<p>英語教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 英語教育のさらなる充実
	<p>食育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園・小学校・中学校での食育を中心に自らの健康は自ら守る、自ら作る。 給食の問題も様々な考え方があり、栄養学の専門家は、「体が著しく大きくなる子どもにとって、給食で一日分の栄養を取ること重要である」と言っている。
<p>○安心して子どもを預けられる保育サービスを提供する</p> <ul style="list-style-type: none"> 結婚や出産による女性の退職が見られる。 子育ての初期段階の支援等の不足から、休職ではなく退職してしまうという状況になっている。 大阪府の結婚退職率は全国で4位と高く、出産、育児も、全国平均より大阪府は高い。 平成25年度の統計で、20歳から59歳の女性の就業率は、大阪府は66.1%で、全国で45位と、かなり低い。 	<p>地域が協力した教育活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文科省が推奨している土曜日教育ボランティア応援団等の制度を利用する。土曜日の教育の必要性については、まわりの保護者から話も出ている。 保護者や地域の住民一人一人の参加が大事。 大人があいさつをして過ごす世の中でないといけない。 大人の意識をいかに変えるかが大事。
	<p>保育サービスの確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交通の便利なところに、安く整った保育施設が必要。 保育所も統廃合で問題を言われているが、慎重に対応してほしい。
<p>◎市民の希望出生率（1.71）の実現に向けて、上記の他に取り組むべきことについて、ご意見をお聞かせください。</p> <p>◎市民の希望出生率（1.71）の実現に向けて、産業界、大学、金融機関、労働団体、メディア、市民など、それぞれのお立場から、取り組めることをお聞かせください。（各主体において取り組まれる際に、行政に求められる役割・支援の内容もお聞かせください）</p>		

②安心・快適・便利に暮らせる生活環境の整備について

取り組みの方向性	取り組みのアイデア	
<p>○若い世代が魅力を感じる住宅供給の促進と市内での住み替えを促進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独身世帯にとっての不動産はあるが、30代くらいの子育て世帯にマッチするような住宅が少ない。 ・守口市と北摂エリアを比較すると、集合住宅、特に分譲マンションの割合が少ない。 ・守口市のイメージは戸建てが多い。 ・昔は、木造の文化住宅が多くあった。 ・老朽化したまちが一定の面としてあり、高齢化が進んでいるので、おそらく空き家も増えてきている。 ・空き家が多いと、「火災は大丈夫か」、「治安は大丈夫か」というイメージをもつ。 ・守口市では空き家問題や密集の問題が深刻。 	若い世代向けの住宅供給の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・若者にとって暮らしやすい住宅の提供。 ・供給されている住宅の問題から、住宅の一次取得者の絶対数が少ない。
	密集市街地の再整備における住宅の供給促進	<ul style="list-style-type: none"> ・木造賃貸の密集市街地対策がキーになっている。 ・面的な整備を持続的に進めていく。
	若い世代が魅力を感じる住宅の供給促進	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートシティやスマートハウスなどの一歩進んだ取組。
	若い世代の市内での住み替えの促進	<p>◎市内で住み替えて、子育てをしてみようと思う子育て世帯を増やすための取り組みについて、ご意見をお聞かせください。</p> <p>守口でどのように暮らしていたら、市内で住み替え先（住宅）を探そうと思うようになるか どのような住宅の供給が必要か 住み替えを検討している若い世代にどのような情報提供や働きかけ、支援をすればよいか など</p> <p>◎市内で住み替えて、子育てをしてみようと思う子育て世帯を増やすために、産業界、大学、金融機関、労働団体、メディア、市民など、それぞれのお立場から、取り組めることをお聞かせください。（各主体において取り組まれる際に、行政に求められる役割・支援の内容もお聞かせください）</p>
<p>○若い世代が安心して暮らせる防犯まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心なまちであること。 ・治安のイメージ。 ・治安に不安を感じると、20代から40代の転出者が増える。 ・安まちメールを見ると、毎日のように引ったくりや痴漢の情報が入ってくる。 ・住んでいると治安面で気になることはあるが、愛着がある。 	まちぐるみでの防犯活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・まちぐるみの防犯。 ・地縁団体の方に防犯や高齢者のネットワークづくりに参加していただく。
	防犯カメラの設置	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前に防犯カメラも設置され、治安は随分よくなった。 ・犯罪抑止ということで監視カメラを増やす、人材を入れるなどで防犯に力を入れていく。 <p>◎治安への不安の解消のための取り組みについて、ご意見をお聞かせください。（何が不安につながっているか、それがどうなればよいか）</p> <p>◎治安への不安の解消に向けて、産業界、大学、金融機関、労働団体、メディア、市民など、それぞれのお立場から、取り組めることをお聞かせください。（各主体において取り組まれる際に、行政に求められる役割・支援の内容もお聞かせください）</p>
<p>○子育て親子が安心・快適に出かけられるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔は田んぼだったところが売却されて賃貸住宅になっている。 ・淀川の河川敷や鶴見まで行けば、皆楽しんでいる。 ・道路や公園にごみが目立つのを見ると、イメージをもってしまう。 ・日本はどこもきれいなので、ごみがまちにあると雰囲気が悪い。 ・高架下はどうしてもごみや空き缶がたまり、公園はやや暗い。 ・守口市の小さい公園では、犬の散歩をしても後始末をしていなかったりする。 ・ごみなどによるまちの印象が、アンケート結果に出ている。 	公園・遊び場の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の整備なども産業振興と併せて考えていく必要がある。 ・公園のルールづくり。
	自然に身近に親しめる機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・淀川や鶴見緑地があり、特に自然が少ないわけではない。 ・自然が少ない不満の解消のため、まちの雰囲気改善が重要。 ・公共用地を開放して、市民ボランティアに緑を植えてもらう取組。 <p>◎身近な自然を感じられるまちにするための取り組みについて、ご意見をお聞かせください。</p> <p>◎身近な自然を感じられるまちにするために、産業界、大学、金融機関、労働団体、メディア、市民など、それぞれのお立場から、取り組めることをお聞かせください。（各主体において取り組まれる際に、行政に求められる役割・支援の内容もお聞かせください）</p>
	まちを美しく保つための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・敏感な母親は、鶴見区などもっときれいなところに住みたいと思うかもしれない。 <p>◎まちを美しく保つための取り組みについて、ご意見をお聞かせください。（何が不安につながっているか、それがどうなればよいか）</p> <p>◎まちを美しく保つために、産業界、大学、金融機関、労働団体、メディア、市民など、それぞれのお立場から、取り組めることをお聞かせください。（各主体において取り組まれる際に、行政に求められる役割・支援の内容もお聞かせください）</p>
子育て親子が外出しやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車や歩行者のレベルでまちが使いやすくなっているかという取組。 	

③魅力的なしごと・働きやすい職場を増やしていくことについて

取り組みの方向性	取り組みのアイデア	
<p>○意欲の高い企業を支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所が元気であれば、まちの雰囲気もよくなる。 ・事業所が賑わっていなければ、まちの雰囲気も悪い。 ・「好循環を支えるまちの活性化」 ・魅力ある工業関係の中小企業を増やすことにより、市内の活性化を図る。 ・住工混在のイメージの問題。 ・守口の特徴として高齢化などがある。工業関係の委員会や会合に行きますが、中心になって働いている経営者が非常に高齢化していると感じる。 	<p>ものづくり企業の事業環境の整備</p> <p>市内企業の稼ぐ力の強化の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・守口における素晴らしい技術のある工場が流出しないように、守口でやっていけるようにする。 ・住工混在の問題を市がリードして整理する。
<p>◎市内企業の稼ぐ力を高めるための取り組みについて、ご意見をお聞かせください。</p> <p>◎市内企業の稼ぐ力を高めるために、産業界、大学、金融機関、労働団体、メディア、市民など、それぞれのお立場から、取り組めることをお聞かせください。(各主体において取り組まれる際に、行政に求められる役割・支援の内容もお聞かせください)</p>		
<p>事業承継の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継ができるような支援。 ・事業承継。 		
<p>商店街の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の活性化。 ・商店街の活性化のサポート。 ・商店街の活性化。 		
<p>◎商店街の活性化のための取り組みについて、ご意見をお聞かせください。商店街はどのような場所になることがめざすべきでしょうか、</p> <p>◎商店街の活性化のために、産業界、大学、金融機関、労働団体、メディア、市民など、それぞれのお立場から、取り組めることをお聞かせください。(各主体において取り組まれる際に、行政に求められる役割・支援の内容もお聞かせください)</p>		
<p>産業の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家電メーカーが市外に出て行く中で、産業を誘致するのも大事。 		
<p>○新たな雇用を生み出す創業を支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地方における安定した雇用を創出する」 ・雇用機会をつくっていく。 	<p>創業の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・守口においては、「産業競争力強化法」に基づいて、門真市と一緒に「創業支援ネットワーク」をつくっている。まちにおける新規開業、創業を増やしていく取組みで、公庫の調査では、1企業あたり4人程度の雇用創出があるということで、地域の雇用を増やし、地方において安定した雇用を創出することに繋がっている。「創業支援」を視点に入れてはどうか。
<p>○ワーク・ライフ・バランスをとりやすい職場を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業でのワーク・ライフ・バランスの早期の実現には、難しい問題がある。 	<p>ワーク・ライフ・バランスのとれた職場づくりの促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省の事業、くるみん企業の認定のようなワーク・ライフ・バランスに力を入れている企業、男性の育児休業取得率が高い企業を認定し、企業にメリットを与える。
<p>◎ワーク・ライフ・バランスのとりやすい職場を増やすための取り組みについて、ご意見をお聞かせください。中小企業の状況を踏まえ、まず何から取り組むことを勧めることが有効でしょうか。</p> <p>◎ワーク・ライフ・バランスのとりやすい職場を増やすために、産業界、大学、金融機関、労働団体、メディア、市民など、それぞれのお立場から、取り組めることをお聞かせください。(各主体において取り組まれる際に、行政に求められる役割・支援の内容もお聞かせください)</p>		
<p>○若い世代の就業を支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用安定が大事。 ・安定した雇用。 ・守口市の会社に就職すれば子育ても心配せずに働ける。 	<p>キャリア教育の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生や中学生の市内事業所・工場見学等をさらに促進する。 ・高校生や大学生にはインターンシップ先を守口市内に紹介する。
<p>◎若い世代の就業支援や、市内企業における必要人材の確保のための取り組みについて、ご意見をお聞かせください。</p> <p>◎若い世代の就業支援や、市内企業における必要人材の確保のために、産業界、大学、金融機関、労働団体、メディア、市民など、それぞれのお立場から、取り組めることをお聞かせください。(各主体において取り組まれる際に、行政に求められる役割・支援の内容もお聞かせください)</p>		

④守口の魅力づくりや魅力発信について

取り組みの方向性	取り組みのアイデア	
<p>○守口の魅力を発信する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数年前に夕張市が破たんしたときには、「次は守口市」と心配した人が多かった。 ・守口市は生活保護の受給率が高い。 ・多くの人々が、守口市は、生活保護受給者などの低所得者が多いというイメージをもっている。 ・市のホームページが分かりにくい。 ・転出者の中で、最初から守口市外に転出しようと考えている人が約4割というのを見て、治安がよくない、自然が少ないなどの、よくないイメージと結びついていると思う。 ・良い印象をいかに表に出していけるか。 ・悪いイメージ抑えるような新たな施策を市に頑張っていたきたい。 ・イメージづくりを根気よく続けていく。 	<p>守口の魅力の情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・守口に来れば安心して若い世代が住めるという分かりやすいビジョンを出す。 ・対象となる年齢の女性にとって守口市は住みやすいまち、子育てしやすいまちであることを、守口市内だけでなく市外の人にも認識してもらおうPR。 ・病院も多くあり、中小企業もたくさんあるので、子育て世代にも優しい、フレキシブルな勤務形態が取れるといったことを、しっかりアピールする。 ・「住んでみると意外にいい」と思っていただけになる。 ・防犯イメージや、子育てしやすいまちのイメージを根気強く発信していく。 ・治安面の他に、「賑わいのあるまち」、「技術をもった企業のあるまち」などもPRする。 ・守口をこれからPRしていくために何かに絞って打ち出すべき。 ・ブランド力をあげるためには、何かフラグが欲しい。 ・フラグ、ブランニングが大事。 ・若い人は、フェイスブックなどで情報を得ることが多いと思う。 ・ホームページに単にPDFで資料を貼りつけるのではなく、プラスアルファの工夫が必要。 ・若い人に市政に携わる仕事を紹介する。 ・人と人がつながるのが大事。PRは、市役所だけでなく市民協働で行うことで、大きな力になる。 ・住んでいる人の盛り上がりがないと、まちのイメージはよくなる。 ・PRの面で、協力できるものは、協力する。 ・ゆるキャラのワッペンやたすきをつけて、子育て支援のまち、子育てしやすいまちをPRする。
<p>○守口の魅力に出会う機会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地方への新しいひとの流れをつくる」 	<p>若い世代が守口を考える機会づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生、大学生を中心に、情報を活かして、守口市、大阪、日本について、若い世代が自ら考えるような場をつくる支援。
<p>○守口の魅力拠点をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街では、シャッターが下りているところが増えている。 ・中心市街地に空き店舗が多い商店街があると、イメージを下げてしまう。 ・にぎわいをつくることが、大事。 ・まちの賑わいをつくることが大事。 ・まちに賑わいがあることがイメージアップにつながる。 ・公共施設が老朽化していて、更新しなければならない。 	<p>駅周辺の賑わいづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちにとって守口が魅力あるとともに、魅力があると感じることもできる感受性 ・駅前周辺の賑わいの創生も大事。 ・スマートシティ、コンパクトシティの観点で、集中してつくる。 ・駅前など人が集まりやすいところに施設等をつくることを考える必要がある。 ・賑わい創出として駅前と商店街の活性化。 ・守口駅を降りたときに、周辺の商店街も歩いてみたくなる雰囲気があればよい。 ・子育ての世帯からみた駅前の面的な整備。
<p>○守口の魅力拠点をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街では、シャッターが下りているところが増えている。 ・中心市街地に空き店舗が多い商店街があると、イメージを下げてしまう。 ・にぎわいをつくることが、大事。 ・まちの賑わいをつくることが大事。 ・まちに賑わいがあることがイメージアップにつながる。 ・公共施設が老朽化していて、更新しなければならない。 	<p>跡地等を活用した魅力拠点の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校統廃合跡地をプレイパークなどの思い切り遊べる場所として、官民連携して整備する。《再掲》 ・小学校の統廃合が進む中で、まちづくりにおける種地が出てくる。《再掲》 ・基盤整備を含めたまちのリニューアルを中心にして取り組む。 ・子育てやコミュニティなど広く民間から意見を取り入れたプロポーザルコンペ方式でのまちづくり。 ・民間活力を投入して、魅力ある施設を作っていく。
	<p>魅力施設の誘致</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大学を誘致する。 ・私立小学校の誘致。
<p>◎守口の魅力づくりや魅力の発信、イメージアップのための取り組みについて、ご意見をお聞かせください。 ◎守口の魅力づくりや魅力の発信、イメージアップのために、産業界、大学、金融機関、労働団体、メディア、市民など、それぞれのお立場から、取り組めることをお聞かせください。(各主体において取り組まれる際に、行政に求められる役割・支援の内容もお聞かせください)</p>		